

NO. 3 事業名 林道事業 [森林基幹道開設 (改築) 事業 (国補)]

箇所・地区名 くしがたやま  
櫛形山線

平成22年度公共事業等事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) 国補・県単

事業名	林道事業[森林基幹道開設(改築)事業(国補)]		事業箇所	南アルプス市、南巨摩郡富士川町(旧増穂町)	地区名	櫛形山線	事業主体	山梨県・南アルプス市
(1) 事業着手年度	H3	(2) 事業期間	H3~H17	(3) 完了後経過年数	5年	(4) 総事業費	1,734百万円	
(5) 事業着手時点の課題・背景					(8) 事業位置図等			
<p>本路線は、県西部の南アルプス市飯野から森林基幹道丸山線(富士川町)を連絡する全延長25,068m、利用区域面積1,183haの森林基幹道である。この地域の林内路網の骨格となる路線として昭和40年から59年に開設され、利用区域内の間伐や保育等の森林整備の基盤として利用されてきた。また、沿線には櫛形山への登山口が4箇所あることから、登山へのアクセス道として利用されているほか、伊奈ヶ湖・県民の森方面からの周遊ルートにもなっており、この地域を代表する観光ルートとして広く利用されている。しかしながら、初期の開設箇所については、幅員が狭く、厳しい自然条件や施設の老朽化により路面侵食や路肩・法面の崩落が相次ぎ、木材運搬や林業従事者、一般利用者の通行に支障を来たしていた。</p> <p>このため、通行に支障のあった区間を改修することにより、通行の安全やアクセスの向上を図り、この地域の林業振興、適正な森林整備の実施、登山等の一般利用者の利便性の向上に資する。</p>					<p>省 略</p>			
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 なし</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果</p> <p>① 林業生産力の向上 ② 走行安全性の確保 ③ 防火帯の確保 ④ 良好な景観の創出</p>								
(7) 整備内容(目標達成の方法)								
<p>森林基幹道の改築 W=4.0m、L=15,185m(改良、舗装)</p> <p>改修前 W=3.0~3.6m</p> <p>山梨県 1,284m 南アルプス市 2,901m</p> <p>1,499百万円 235百万円</p>								

2. 評価シート（1）

<p>(1) 事業貢献度 <span style="float: right;">〈 良 ・ 不良 〉</span></p> <p>(理由)                  ・林道が改修されたことにより、森林管理道・作業道と併せた路網が形成され、収穫間伐の推進や効率的な森林整備が可能となった。                  ・全線を整備したことにより楡形山登山等へのアクセス道として登山者や観光客に広く利用されている。</p> <p>①主要目標：集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">指 標</th> <th style="width:33%;">着手時点数値等</th> <th style="width:33%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>4m未満延長率</td> <td>61%→設定せず</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>□評価時点の数値に対する評価                  ・全幅員4.0m未満の道路延長率は61%であったが、事業の完成によりすべて解消された。</p> <p>②副次目標</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:33%;">指 標</th> <th style="width:33%;">着手時点数値等</th> <th style="width:33%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>設定せず</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>林業生産力の向上</td> <td>木材運搬トラックの円滑な運行、間伐材の有効利用促進、高性能林業機械による低コスト作業が可能となった。</td> </tr> <tr> <td>走行安全性の確保</td> <td>ガードレールやカーブミラーの整備、舗装により走行時の安全性が向上。</td> </tr> <tr> <td>防火帯の確保</td> <td>法面の立木整理等により防火帯（防火線）として必要な幅であるおおむね10m以上を満たす（林業技術ハンドブック）防火帯を確保できた。</td> </tr> <tr> <td>良好な景観の創出</td> <td>富士山が眺望できる展望台の整備。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況                  ・沿線にある学校林が、体験学習の場として多く利用されるようになった。</p>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	4m未満延長率	61%→設定せず	0%	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	設定せず			項 目	内 容	林業生産力の向上	木材運搬トラックの円滑な運行、間伐材の有効利用促進、高性能林業機械による低コスト作業が可能となった。	走行安全性の確保	ガードレールやカーブミラーの整備、舗装により走行時の安全性が向上。	防火帯の確保	法面の立木整理等により防火帯（防火線）として必要な幅であるおおむね10m以上を満たす（林業技術ハンドブック）防火帯を確保できた。	良好な景観の創出	富士山が眺望できる展望台の整備。	<p>(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 <span style="float: right;">〈 有 ・ 無 〉</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:40%;">着手時点の計画</th> <th style="width:40%;">事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,289 百万円</td> <td>1,734 百万円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H3~H18</td> <td>H3~H17</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>未算出</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>未算出</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>未算出</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3,195百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3,521百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(要因変化の分析)                  想定以上に既設構造物の老朽化が進んでいたことや景観維持のための法面緑化の増工により、事業費が445百万円増額となった。                  また、早期整備の要望が高い路線であったことから、事業費の集中投資を図った結果、工期を1年短縮した。</p> <p>(3) 事業実施による環境の変化 <span style="float: right;">〈 有 ・ 無 〉</span></p> <p>①自然環境への影響                  ・公益的機能の向上                  間伐の実施により下草など植生の繁茂による保水能力の上昇、降雨による表土の流出が少なくなるなど公益的機能が向上している。また、森林整備を行うことで健全な森林となり、地球温暖化防止に貢献している。</p> <p>②生活・居住環境等への影響                  なし</p> <p>③環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）                  なし</p> <p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 <span style="float: right;">〈 有 ・ 無 〉</span></p> <p>①社会経済状況の変化                  なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化                  なし</p> <p>③事業環境等の変化                  なし</p>	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,289 百万円	1,734 百万円	工 期	H3~H18	H3~H17	経済効率性	費用	未算出	便益	未算出	B/C	未算出			3,195百万円			3,521百万円			1.10
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																														
4m未満延長率	61%→設定せず	0%																																														
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																														
設定せず																																																
項 目	内 容																																															
林業生産力の向上	木材運搬トラックの円滑な運行、間伐材の有効利用促進、高性能林業機械による低コスト作業が可能となった。																																															
走行安全性の確保	ガードレールやカーブミラーの整備、舗装により走行時の安全性が向上。																																															
防火帯の確保	法面の立木整理等により防火帯（防火線）として必要な幅であるおおむね10m以上を満たす（林業技術ハンドブック）防火帯を確保できた。																																															
良好な景観の創出	富士山が眺望できる展望台の整備。																																															
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																														
総事業費	1,289 百万円	1,734 百万円																																														
工 期	H3~H18	H3~H17																																														
経済効率性	費用	未算出																																														
	便益	未算出																																														
	B/C	未算出																																														
		3,195百万円																																														
		3,521百万円																																														
		1.10																																														

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 <span style="float: right;">〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</span></p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</span></p>
<p>(理由) 林道が改修され、県有林を中心に利用間伐や森林整備の推進が図られており、今後も計画に基づく森林施業が確実に実施される見込である。また、櫛形山への登山者や、観光目的での一般利用も見込まれるため、事後評価を再度実施する必要性はないと思われる。</p> <p><input type="checkbox"/>「有」の場合の実施時期及び方法 ・ 時期：        年度 ・ 方法：</p>	<p>(理由) 既設構造物の老朽化の進行、法面緑化の増工により事業費が増額となった。</p> <p>(具体的反映策) 事前調査の精度向上を図るとともに、路線の特徴や利用形態に応じた事業計画を策定していく。</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 <span style="float: right;">〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</span></p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 <span style="float: right;">〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</span></p>
<p>(理由) なし</p> <p>(具体的改善策) なし</p>	<p>(理由) なし</p> <p>(具体的反映策) なし</p>
<p>(既の実施した改善策の内容と効果) なし</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 なし</p>

3. 添付資料シート(2)



着手前の状況



完成区間の状況

3. 添付資料シート(3)



沿線の森林整備実施状況（利用間伐）



沿線の森林整備実施状況（利用間伐）

### 3. 添付資料シート(4)



展望台からの富士山の眺望（関東の富士見百景）



櫛形山登山道

3. 添付資料シート(5)



楡形山登山道



学校林での体験学習